

平成27年度 工事調達における総合評価落札方式の 運用ガイドラインについて

平成27年4月22日
中部地方整備局

1. 施工能力評価型 I・II 型（同時提出型見積無し）の
手順フロー
2. 技術提案評価型（S型）の技術提案項目・設定数
3. 登録基幹技能者の設置に対する加算点付与
4. 一括審査方式のガイドラインへの位置付け

1. 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ型(同時提出型見積無し)手順フロー

【各契約方式における手続き日数の目安】

契約形式	H26GL 手続日数	H27GL 手続日数	
施工能力評価型Ⅱ型	24日以上	24日以上	
施工能力評価型Ⅱ型 (同時提出型)	29日以上	35日以上	+6日
施工能力評価型Ⅰ型	30日以上	30日以上	
施工能力評価型Ⅰ型 (同時提出型)	32日以上	35日以上	+3日
技術提案評価型S型	45日以上	45日以上	
技術提案評価型S型(WTO)	47日以上	47日以上	

※上記は、入札公告から落札決定までの日数を示したものである。(施工体制確認及び落札決定に要する期間として最短の2日で算出)

※歩掛見積が必要な場合は、これに必要な期間を設けるものとする。

2. 技術提案評価型(S型)の技術提案項目・設定数

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・技術提案加算点で満点を獲得する者が増加 ・WTO工事は技術提案のみの評価であることから価格競争になる懸念
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・WTO工事においては、工事難易度及び工事規模により、技術提案2テーマ設定を積極的に活用する ・社会的要因テーマも活用していく

【技術提案テーマの設定例】

設定例1

- ・工事目的物の性能、機能向上に関する技術提案(2テーマ)

＜具体事例＞ 一般土木(トンネル工事)

- ①覆工コンクリートのひび割れ抑制対策
- ②低土被り部のトンネルの品質向上対策

設定例2 **社会的要因テーマの活用**

- ・工事目的物の性能、機能向上に関する技術提案(1テーマ)
- ・社会的要請への対応に関する技術提案(1テーマ)

＜具体事例＞ 一般土木(橋梁下部工事)

- ①橋脚コンクリートのひび割れ抑制対策
- ②**下部工施工における濁水抑制対策**

3. 登録基幹技能者の設置に対する加算点付与

課題	<ul style="list-style-type: none"> 登録基幹技能者の活用 他地整において、加算点付与の実績あり
対応	<ul style="list-style-type: none"> 登録基幹技能者の設置に対して加算点付与(+1点) ※元請け・下請を問わない

【H27GL 評価項目一覧】

評価項目		一般競争（拡大）										WTO					
		施工能力評価型Ⅱ型				施工能力評価型Ⅰ型				技術提案評価型S型		技術提案評価型S型					
		適用	配点の範囲		適用	配点の範囲		適用	配点の範囲		適用	配点の範囲					
技術提案	テーマ1	-	-		-	-		-	-		○	-		○	-		
	テーマ2	-	-		-	-		-	可or不可		(○)	最大30点		(○)	最大60点		
施工計画		-	-		-	-		○	-		○	-		-	-		
配置予定技術者ヒアリング		-	-		-	-		-	-		(○) ^{※2}	-		(○) ^{※2}	-		
技術者の能力	配置予定技術者の同種・類似工事の施工実績及び役職	8点	-		8点	-		8点	-		8点	-		6点	-		
	継続教育（CPD）単位の取得状況	1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		
	工事成績	8点	最大20点		8点	最大20点		8点	最大20点		8点	最大20点		6点	最大15点		
	技術者表彰	4点	-		4点	-		4点	-		4点	-		3点	-		
企業の能力	企業の同種・類似工事の施工実績（平成12年度以降）	6点	-		4点	-		6点	-		4点	-		4点	-		
	工事成績	6点	-		4点	-		6点	-		4点	-		4点	-		
	優良工事表彰等	3点	-		2点	-		3点	-		2点	-		2点	-		
	安全工事表彰	3点	-		2点	-		3点	-		2点	-		2点	-		
	社会貢献等表彰	3点	-		2点	-		3点	-		2点	-		2点	-		
	担当技術者の資格	<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		
地域の精進・貢献度	登録基幹技能者の配置	1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		
	建設ICTの活用	<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		
	「MC、MG」を活用した施工を実施	<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		<1点> ^{※1}	-		
	平成12年度以降の近隣地域内の工事実績	(-)	1点		(-)	1点		(-)	1点		(-)	1点		(-)	1点		
小計	地域内の拠点の有無	(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		
	災害活動実績	3点	-		3点	-		3点	-		3点	-		3点	-		
	災害協定締結の有無	1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		
	ボランティアによる地域貢献	1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		1点	-		
	道路除雪作業の実績または直轄河川・道路維持作業の実績	(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		(-)	2点		
工事成績（マイナス評価）	中部地整（港湾空港関係除く）発注の平成24、25年度の工事成績で「60点未満」がある場合		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		・2工事以上：-12点 ・1工事：-6点		
事故等による指名停止等（マイナス評価）		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点	
贈賄等による指名停止等（マイナス評価）		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点		-3点	
小計		40点		40点		40点		40点		40点		30点		-		-	
加算点 合計		40点		40点		40点		40点		40点		60点		60点		60点	

「企業の能力」において、登録基幹技能者を評価

4. 一括審査方式の試行方針ガイドラインへの位置付け

課題	・H25より積極的試行を行っているが、ガイドラインへの 位置付けなし
対応	・H27ガイドラインへ 位置付け (適用条件として、工事規模、施工地域の近接、求める技術提案が同じ 等)

【一括審査方式の試行方針】

目的
①技術審査業務の負担軽減。 ②発注者・受注者双方の入札手続きの効率化により予算の早期執行を図る。

要旨
参加資格要件等を共有できる 複数工事の発注が同時期 に予定されている場合において、競争参加申込者からの 技術資料の提出を一つのみ とし、発注者・受注者双方の 業務軽減とともに迅速な予算執行 を図る。 今般、上記を検証するため、試行工事の実施を行うもの。

一括審査方式の概要
① 複数工事 の発注に対して 同一テーマの技術提案(施工計画) を求める。
②入札は、 すべての工事 または、 希望する工事のみ 札を入れる。
③入札説明書で示した開札順番ごとに開札し、 工事ごとに評価値の最も高い者に落札決定 する。
④なお、 1公告に配置できる予定技術者は、1名 とする。
⑤落札決定し、配置予定技術者がいなくなった企業は、以降の 入札は無効 扱いとする。

【イメージ図】

複数工事一括発注

・技術提案(施工計画)
(各工事共通テーマ)
・配置予定技術者
1名のみ申請

工事 開札 順番	①工事	②工事	③工事	④工事	⑤工事
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
	↓	↓	↓	↓	↓
	評価値順位	評価値順位	評価値順位	評価値順位	評価値順位
業者					
A	5位	2位	落札決定 1位	無効	無効
B	落札決定 1位	無効	無効	無効	無効
C	3位	4位	2位	2位	落札決定 1位
D	6位	3位	3位	落札決定 1位	無効
E	2位	落札決定 1位	無効	無効	無効
F	4位	5位	4位	3位	2位
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

平成27年5月11日(月) 運用開始